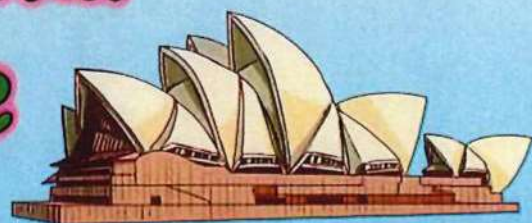


令和6年度
ポーツステーションズ市中学生派遣事業
参加報告書



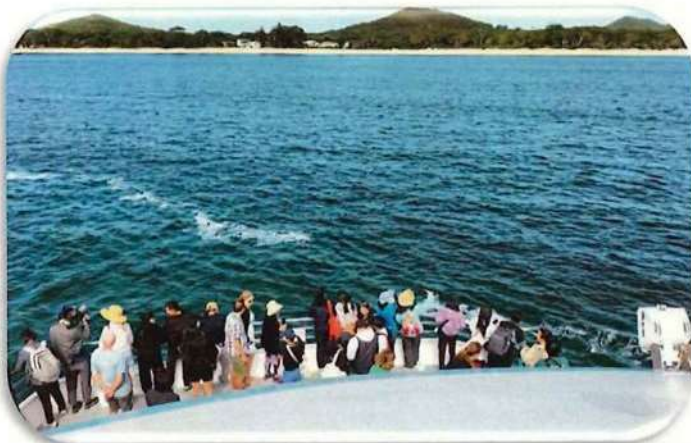
Port Stephens
International
exchange



～目 次～

- ◆プチアルバム … p.1～2
- ◆派遣メンバー・テーマ … p.3
- ◆派遣準備 … p.4
- ◆行程表 … p.5
- ◆派遣生徒報告書 … p.6～70

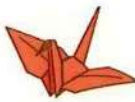




○派遣メンバー



巻上明里
星野景冬
古家松旺
檜皮ひなの
高杉花暖
加藤倅乃

	氏 名	伝えたい日本文化	報告書 ページ
1	加藤 倅乃	食文化（和菓子、寿司について）	P 6～15
2	高杉 花暖	折り紙 	P 16～24
3	檜皮ひなの	茶道 	P 25～35
4	古家 松旺	温泉、お祭り、和食 	P 36～49
5	星野 景冬	温泉 	P 50～59
6	巻上 明里	箸の持ち方、折り紙	P 60～70

○派遣準備

日程	内 容	場 所	詳 細
令和7年 1/31(金) 19:00～	第1回事前説明会 ※保護者同伴	教育委員会大会議室	派遣者自己紹介 旅行会社からの案内 今後の日程確認
2/ 8(土) 2/15(土)	参加者健康診断	湯河原胃腸病院	保護者同伴
2/25(火) 16:00～	第1回語学研修会	防災コミュニティセンター 101 会議室	
3/10(月) 16:00～	第2回語学研修会	防災コミュニティセンター 101 会議室	
3/10(月) 18:30～	第2回事前説明会 ※保護者同伴	教育委員会大会議室	現地訪問の日程 出発式・帰朝報告会について 旅行会社から渡航手続きの最終 確認
3/18(火) 16:00～	第3回語学研修会	防災コミュニティセンター 202 会議室	
3/18(火) 18:30～	調理実習	城堀会館3階調理室	「Thank you dinner」試作
3/26(水) 14:00～	出発式	町役場第2庁舎 特別会議室	町長・議長あいさつ 来賓・生徒・随行者紹介 生徒決意表明 記念品の贈呈 写真撮影 懇談
4/ 8(火) 15:00～	帰朝報告会	町役場第2庁舎 特別会議室	町長・議長あいさつ 生徒代表から帰朝報告 随行者からの研修報告 歓談
4/ 8(火) 15:45～	事後研修会	町役場 第2庁舎第3会議室	報告書の作成について



○行程表

3月29日(日)～4月5日(土)

日 時	行 程	時 刻	内 容
令和7年 3/29(土)	湯河原駅集合・出発 (17:30 改札前集合) 羽田空港到着・出発	17:57 18:39 19:24 19:46 22:45	湯河原駅発(JR東海道線) 小田原駅乗り換え(ひかり6588) 品川駅乗り換え(京急線) 羽田空港着 ※添乗員が空港まで同行、出国手続き シドニーへ(NH879 機内泊)
3/30(日)	シドニー空港到着 ポーツステイブンス市 到着	10:30 11:30 15:30 16:30	シドニー空港到着 旅行者現地係員と合流 旅行会社の専用車にて移動(途中昼食) ニューカッスル空港(レンタカー) ポーツステイブンス市 フィンガルベイホリデーパークへ 姉妹都市委員会主催の歓迎会 (フィンガルベイホリデーパーク泊)
3/31(月)	通学交流 (セントフィリップス・ クリスチャンカレッジ)	終日 17:30	学校へ通学 宿泊棟へ 夕食(フィンガルベイホリデーパーク泊)
4/1(火)	通学交流 (セントフィリップス・ クリスチャンカレッジ)	終日 15:00 17:00	学校へ通学 コアラ保護区へ 宿泊棟へ 夕食(フィンガルベイホリデーパーク泊)
4/2(水)	通学交流 (セントフィリップス・ クリスチャンカレッジ)	終日 17:30	学校へ通学 ネルソンベイ CBD お土産購入 宿泊棟へ 湯河原主催の夕食会 (フィンガルベイホリデーパーク泊)
4/3(木)	ネルソンベイ・マリーナ ポーツステイブンス市 出発 シドニー到着	9:00 10:15 12:15 14:00	ネルソンベイ・マリーナへ ドルフィンウオッチクルーズ 昼食 ポーツステイブンス市出発 ホテルへ(シドニー泊)
4/4(金)	シドニー市内観光 シドニー空港到着・出発	午前 19:00 21:45	※旅行会社の専用車で移動(途中昼食) 市内で買い物などの後、空港へ シドニー空港到着、出国手続き 羽田へ(NH880 機内泊)
4/5(土)	羽田空港到着 湯河原へ出発 湯河原到着	5:35 9:00	羽田空港到着、入国手続き 空港にて町バス搭乗後、湯河原へ ※帰途途中 SA で休憩(各自で軽食等) 防災コミュニティセンターにて解散

オーストラリア派遣事業報告書

湯河原中学校 加藤倅乃

【St Philip's Christian College】

1.日本と違ったところ

- ・基本的に全て移動授業。座る席も自由。

日本のような自分の教室がなかったことが大変でした。

- ・2時間目終了後、スナックタイムがある。

お菓子は生徒がそれぞれ持ってきたり、購買で買ったりしている人もいました。

- ・昼食をとる場所は自由。

外でも中でも、食べながら歩いている人もいました。クラス学年関係なく自由に食べられているのが日本とは違って面白かったです。

- ・正解したらご褒美でお菓子が貰える。

日本ではお菓子を持っていくと怒られるので、羨ましかったです。日本でも行えば、授業に取り組むモチベーションが高まると思います。

- ・うるさいと教室から出される。

1回目はホワイトボードの端に名前がかかれて、2回目は名前の横にチェックがつけられて、3回目のときには教室から出されていました。日本では体罰などと言われるので、新鮮でした。

2.設備

- ・トイレ

日本の方が綺麗でした。

- ・ジム

ジムがありました。ランニングマシンや筋トレのマシンなどがありました。

- ・屋外体育館

日本のような室内の体育館はありませんでした。ただ、体育館に、バスケットとバレーボールのコートがありました。

- ・教室

黒板ではなくホワイトボードが使われていました。そしてどの教室もカラフルでした。

3. 思ったこと

みんなフレンドリーでした。廊下で歩いていると、見知らぬ男の子からハイタッチを求められたり、「こんにちは」と言われたりしました。日本では知らない人にそんなことするなんてなかったから驚きました。

初めてバディの子に会ったとき、身長が高くて自分よりも年上かと思いました。自分よりも1〜2歳下でしたが、わかりやすいようにたくさん話しかけてくれて本当にありがたかったです。



3日目に、文化紹介をしました。70人くらいの人の中で英語での発表なんて初めてで、とても緊張しました。私は和菓子について紹介しました。発表中、台本と紹介用の写真付きの紙が2つあり、うまく持てずに困惑していたら、先生が写真のように片方の紙を持って、助けてくれました。また、発表後、うまくできたかなという不安がありながら席に戻ると、その途中で「良かったよ」と言い、ハイタッチしてくれる子がいました。オーストラリアの人は本当に親切で優しくていい人が多いんだなと思ったことを覚えています。



【コアラ保護地区】

コアラ保護地区とは、怪我したコアラや病気になってしまったコアラを保護する場所だそうです。

トラブルがあり開園時間内に行けなかったのですが、閉園後特別に入れてもらえました。飼育員さんが付きっきりで解説をしてくれました。

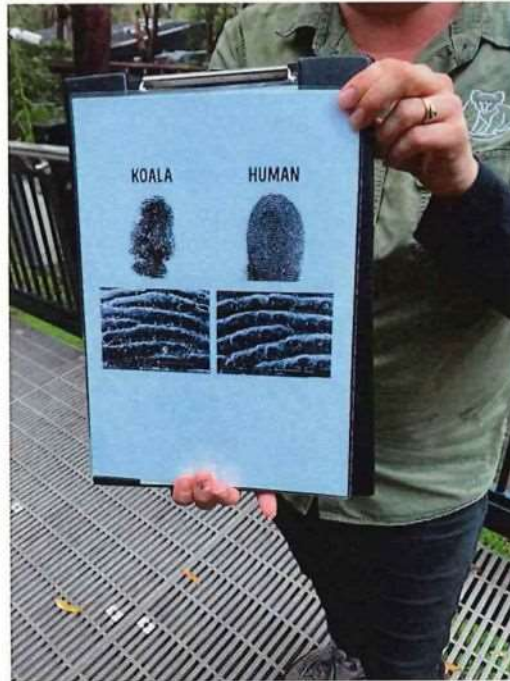
写真のように、コアラの置き物や、お土産ショップなどがありました。コアラにユーカリをあげているような写真を撮れるスポットもありました。



コアラについて

・指紋

コアラも人間と同じように指紋があるのですが、人間と似ています。



・寿命

10～15年程度だそうです。

・睡眠時間

コアラはユーカリが主食なのですが、ユーカリには毒があります。そのため、24時間中の20時間は寝て毒を消化しているそうです。

・食べ物について

コアラは基本ユーカリを食べます。ユーカリの中でも、必要なユーカリの種類を考え、自分で選んで食べているそうです。

・体内

約60cm程度の大きさの体に、ユーカリを消化するために、約2mもの長い腸があるそうです。

人間は、大腸と小腸を合わせると7～9m程度の腸があります。

・マーキング

体のオイルをユーカリにつけて、マーキングをしているそうです。

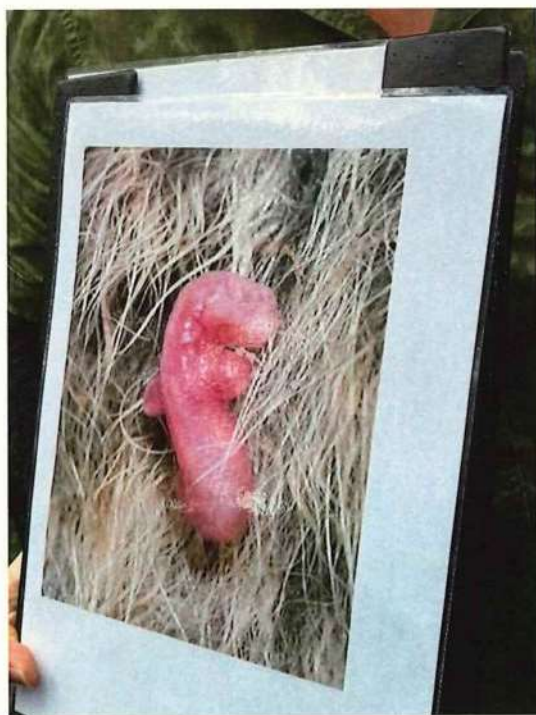
・指

手の指は3本2本、足の指は4本1本で分かれています。



・成長

1年間ほどで大人サイズの約60cm程度の大きさになります。



オーストラリアでの生活

・食

何でもかんでも量が多かったり、大きかったりしました。日本とは違って、落ち着いた味ではなくて、自分の口には合いませんでした。

学校の初日だけ、スナックタイムのお菓子が用意されていました。その時に、ラミントンというオーストラリアの伝統菓子が用意されていました。甘く、しっとりしたケーキのような見た目で、周りにココナッツがついていました。本当に美味しかったです。日



本でも作ることに挑戦したいです。

・お風呂

シャワーが取り外せなくて難しかったです。自分がクルクル回って流さないといけないので、体の下の方を流すのが難しかったです。また、浴槽の上にシャワーがあるため、何度も転けそうになりました。

洗面所とお風呂が同じ部屋にあるのも大変でした。ビチャビチャになってしまうのが面倒くさかったです。

・トイレ

形的にはほとんど日本と変わりませんでした。でも、便座が温かくなかったり、ウォシュレットがなかったりしました。日本の方がいいです。お店などのトイレも全体的に汚かったです。日本の方がいいです。

・町

1つ1つの家の感覚が広く、大きかったです。驚いたことに、電柱がコンクリートではなくユーカリの木でできていました。道路も広かったです。自然も多く、海も綺麗でした。山もあり、一度山に登りました。

アボリジニ

アボリジニとは、オーストラリアの先住民族の名前です。

・楽器

学校の講演室のようなところで歓迎を受けたのですが、そのときに低学年の子たちがアボリジニにまつわる劇をしてくれました。英語だったから理解できなくて本当に悔しかったです。そのときに、アボリジニ特有の楽器が使われていました。名前は、ディジュリドゥで、金管楽器だそうです。低くて響くような音でした。



・アート

学校へ行ったとき、校長先生にレセプションルームという部屋に案内されました。そこに、1つの絵が飾られていました。その絵の意味を校長先生が解説してくれました。ところどころに大きな丸の集まりがありました。それは話している人だそうです。周りは、丸を半分でぶったぎったようなもので囲まれていて、それは話している人を守る人たちだそうです。ところどころにあるそれらを繋げる白い点は、繋ぐ人だそうです。絵にそれぞれ意味があり伝えたいことがあると知り、アボリジニのアートが好きになりました。お土産でアボリジニのアートが描かれているものを何個も買えてよかったです。

ドルフィンウォッチング

ポートスティーブンス最終日、ドルフィンウォッチングに行きました。前日まで雨で、濁っていたらしく、最高の状態の海が見れなかったことが悔しかったです。船に乗って1~2時間ほどだったので、船酔いしそうになりました。



船がイルカの50m以内に近づくことは禁止らしいのですが、イルカが船に近づいてきてくれることがありました。そのときはもう真下にイルカがいて、あんなに近くで見るなんてはじめてでした。最高の思い出になりました。

まとめ

今回たくさんの経験や挑戦ができました。いろんなものを食べたり、オーストラリアの文化を積極的に知ろうとしたり、正直今までの自分なら信じられないほど今回で成長できたと思っています。また、元々はトライアンドエラーはそこまで大切ではないと思っていました。でも今回、挑戦して、自分の実力や、ミスをした後に努力して改善しようとするのが本当に大切なんだと知れました。本当にいい経験になりました。計画してくださった方々、見えないところで動いてくれた方々、随行者として着いてきてくださった2人には本当に感謝しかないです。

また私は、学校に行ったときも、買い物に行ったときも本当にすごく緊張していました。でも、オーストラリアの人たちは、たくさん話しかけてくれたり、伝えてくれようとしてくれたりして、本当にありがたかったです。オーストラリアの人たちは言葉に表せないくらい優しく、いい人たちでした。今まで、オーストラリアにそこまで興味がなかったのですが、でも今では、国も人も大好きになりました。ただ、自分の英語がまだまだだったせいで、コミュニケーションが取れなかったことが本当に悔しいです。だから、これからもっとたくさん英語を勉強して、またもう一回オーストラリアに行きたいと思います。



派遣事業
報告書

高杉 花暖

~1日目と2日目~



1日目は、飛行機に乗って
シドニーへ向かいました。
空港に着いたときは不安な
気持ちもありましたが、楽しいな
気持ちの方が強かったです。
シドニーに着くと、日本との
空気感が違うように感じて
「本当に海外に来たんだな」という
実感が沸きました。
長時間の移動で疲れていたけれど、
オーストラリアで過ごすのがもっと楽しめそうです。

2日目は、シドニー空港から
ポーツメーアンスへ向かいました。
シドニーからポーツメーアンス市までは
約30分間かけて行きました。

お昼ご食反にはポロネーセを食べました。
見た目は日本のポロネーセと同じだった
けれど、食べてみるとトマトが強く、少し
酸味、ほいように感じました。
同じ料理でも国によって味付けが違う
ことは新しい発見でした。

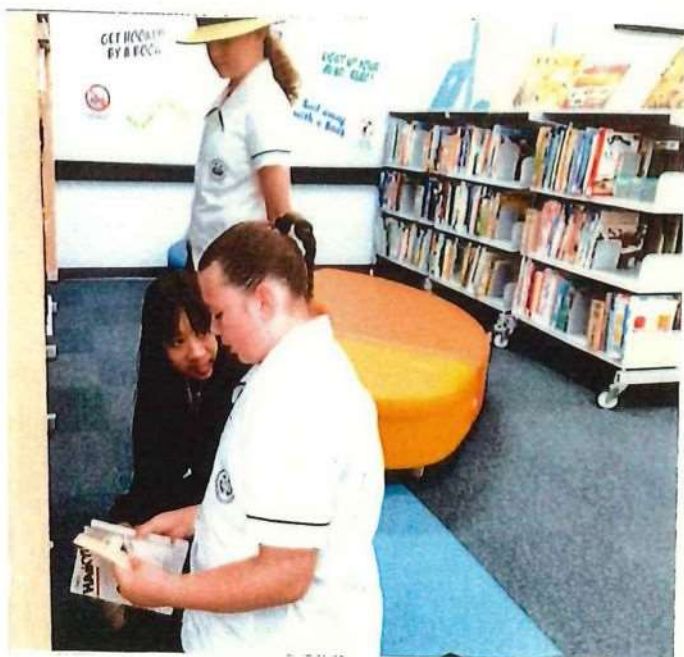
夜は姉妹都市委員会の方々がパーティーを
開いてくれました。

海外の人と対面でしっかり話をすることは
初めての経験だったのでとても緊張しました。
けれど、優しく笑顔で話かけてくれて
緊張もたんとと解けていきました。
また、プレゼントもくれてとてもうれしかったです。



BBQではオージービーフや、
パブロフというケーキなど
オーストラリアならではの食べ物か
たくさんあった。

3日目 ~♡



午後はコアラ保護区に行きました。
 行った日は雨が降っていたけれど、木の上を見たら
 コアラが居ても可愛かったです。
 コアラは普段は夜行性なけれど、一匹だけ歩いている
 のかいエリアなものがみれてうれしかったです。
 学校に行く時、木が沢山ある道を通っていたら
 木の上にコアラが何匹もいて日本ではありな
 いことなのでとてもびっくりしました。
 コアラのことを保護区の人から教えてくれて、あまり
 知らなかったのでもコアラに対する知識が増え
 ました。

3日目は現地の学校、セントフィリップス・

ワスチンカレッジに通いました。

バディという学校生活をサポートしてくれる子が2人
 いて、その2人と最初から話す時間があったけれど、
 緊張していてあまり話をすることが出来ませんでした。
 けれど、学校の中を見学する内に緊張もして
 楽しく話をすることが出来ました。伝わらないこともあったし、
 理解できないことも沢山あったけれど、2人とも簡単な言葉で
 話してくれてとても良かったです。

また午前中は「スタッフタイム」というおかしを食べる時間か
 あって、日本の中学校ではおかしを食べる時間が無いので
 とても驚きました。

3日目は学校が休みだったこともあり、セントフィリップスの先生が
 おかしを用意してくれました。

バディの2人と話をしながら食えるのはとても楽しかったです。
 その後授業を受けました。授業のクラスに行くと沢山の人が
 話かけてくれてとても嬉しかったです。

不安だった気持ちはこの日の学校生活で全てなくなりました。

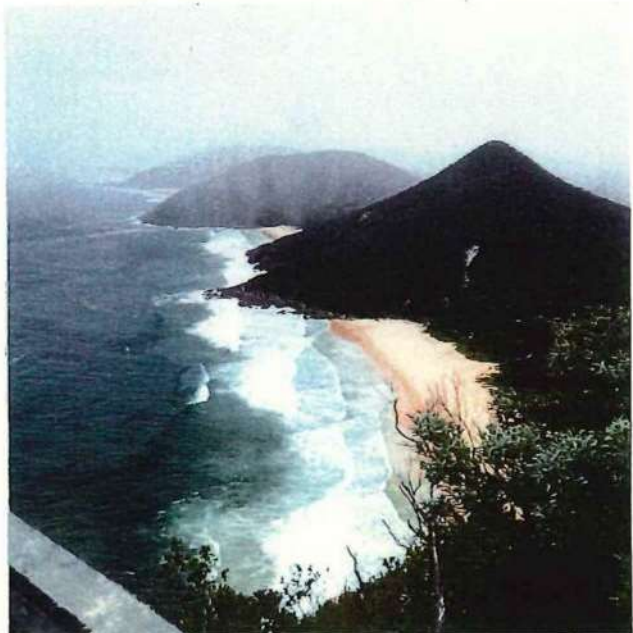


4日目



4日目は2回目の学本校に行きました。
 2回目ということもあり、初日より緊張がなくなりました。
 パティの子も外も話をかけてくれて仲良くなりました。
 「セントフィリップス・クリスチヤンカレッジ」の生徒達は
 積極自々に発言をしていて自分の意見を持っている
 印象を受けました。
 そして、スナックタイムのときにおかしを準備していた
 人だけでなく、学本校の先生がおかしをくれてとても優しくて
 オーストラリアの人は本当に温かいなと思いました。
 また、パティの子や仲良くなつた子には自分のメール
 アドレスをくれた名刺りを渡して日本に帰って来て
 メールを出来たり、自分の名前をおぼえてくれたり出来る
 ように教員委員会の方が工夫してくれました。
 なので、パティの子や仲良くなつた子達に渡しました。
 初日よりもう慣れて楽しく過ごせました。

午後は女子校都市委員会の方と一緒に
 山に登って景色を見に行きました。
 山に登るときは降っていないけれど、
 その日は雨が降っていたので少し暑いか
 かっていました。
 けれど、それも気にならないくらいとても
 きれいでした。
 道は少し息たつたけれどみんな
 会話をしながら楽しく登ったので
 あつという間でした。
 山の頂上から見える景色は事前に説明を
 受けていた真鶴湾にとっても似ていました。



5日目

5日目は、学校に通う最後の日でした。学校に通ったのは3日だけだったけれど、沢出の人とイチャイチャすることによって楽しくてとてもあったという間でした。

そして、和達派遣事業生徒は日本の文化を紹介しました。和は宍島についての紹介をしました。宍島の歴史や折った宍島を見せながら詳しく説明をしました。日本文化の紹介は大体100人くらいの前でしたのでとても緊張しました。

文化交流をした後、バティの子やイチャイチャした子が「良かったよ!」と言ってくれてとてもうれしかったです。

また、お別れをするときはプレゼントをくれて「また会おうね!」と言ってくれて泣きそうなくらいうれしかったです。

その夜にバティと女中女末都神委員会のお宅を招いて「ありがとう」という気持ちを込めてパーティーを開きました。このパーティーではカレーうどん、牛肉うどん、海鮮うどん、蕎麦、野菜スライム、デザートに抹茶アイスを食べました。

みんな「美味しい」と言って沢出食べてくれて随分香の片と協力して作って良かったなと思いました。

ここが本当のバティとの別れだったのでもっと嬉しかったけれどこんな素敵な人達と出会えてほんとに良かったなと思いました。



6日目

6日目はドルフィンウォッチングに行きました。この日は日青水でいてきれいな海が見えてとても
ゆめゆめしていました。船に乗って沖の方に進んでいくと遠くにはいるかの背が水が見えました。
野生のいるかを初めて見たので遠くの方で見れただけでも嬉しかったけれど、しばらくしたら
何匹かのいるかが船の近くにきてくれて一緒に泳いでくれてシャワーもしてくれました。
船にいる人達もみんな声を合わせているかがシャワーするタイミングに「おーん！」と言っていたので
楽しかったです。

お昼ご飯には、オーストラリアの有名な料理の「フィッシュアンドチップス」を食べました。
味はとっても美味しかったけれど、量がとても多くて驚きました。
オーストラリアの自然や食文化を学ぶことができてとても楽しい一日でした。

ドルフィンウォッチング



フィッシュアンドチップス



7日目

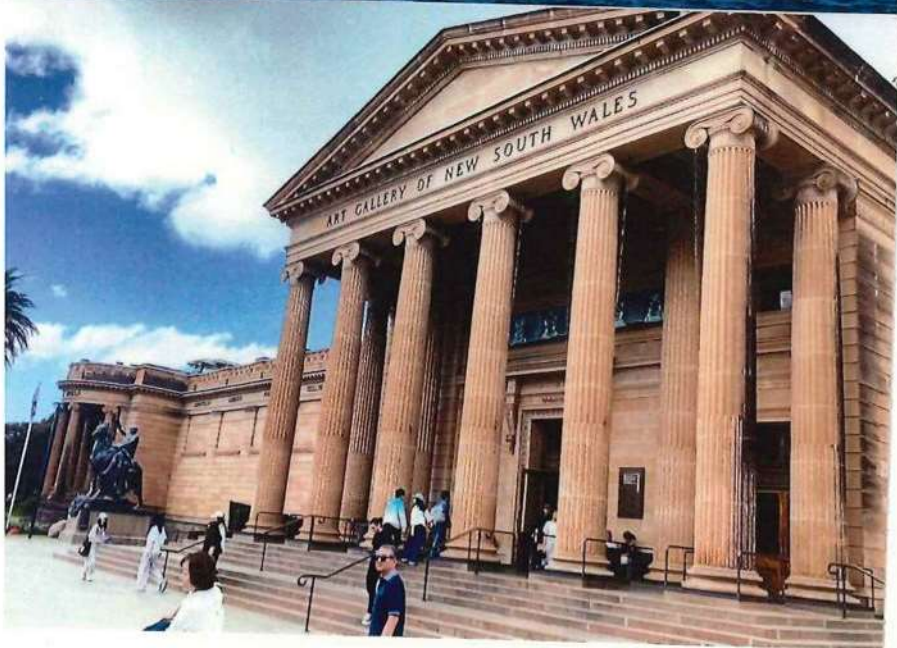


7日目は、シドニー観光へ行きました。

この日はオーストラリアで過ごす最後の日でした。

まずはオーストラリアで有名なオペラハウスとハーバーブリッジの両方が見えるところに行きました。写真や動画でしか見た事なかったのでもう一度見ました。

次に「ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館」に行きました。



ここには有名な画家の「ゴッホ」や「モネ」、「ピカソ」の絵が飾られていました。

他にも日本の絵や、先住民のアボリジニのアートを見ることが出来ました。

日本にはないものなので、他の国の歴史を知れて良かったなと思いました。オーストラリアで過ごす日はとてもあっという間で、色々なことを体験できてとても濃い6日間でした。初めて海外に行くということもあり、不安もあったけれど、とても楽しかったです。

まとめ

- スタックタイム や アボリジニ など日本とは違った文化や歴史を通してオーストラリアの文化に溶け込むことができました。
- ぶが分からなくて困っていたら店員さんが手伝ってくれた。他にもお会計のときみんなフレンドリーで楽しかった。
- 姉妹都市委員会の人達も優しく接してくれて話をしやすかった。
- 今は将来の夢は石を定めていないけれど、もっと色々な人と関わって沢山のことを知っていきたいなと思った。
- 行く前は不安もあったけれど、この派遣事業を通してオーストラリアのことを知れて、関わって、参加をして良かったなとほんとは思いました。

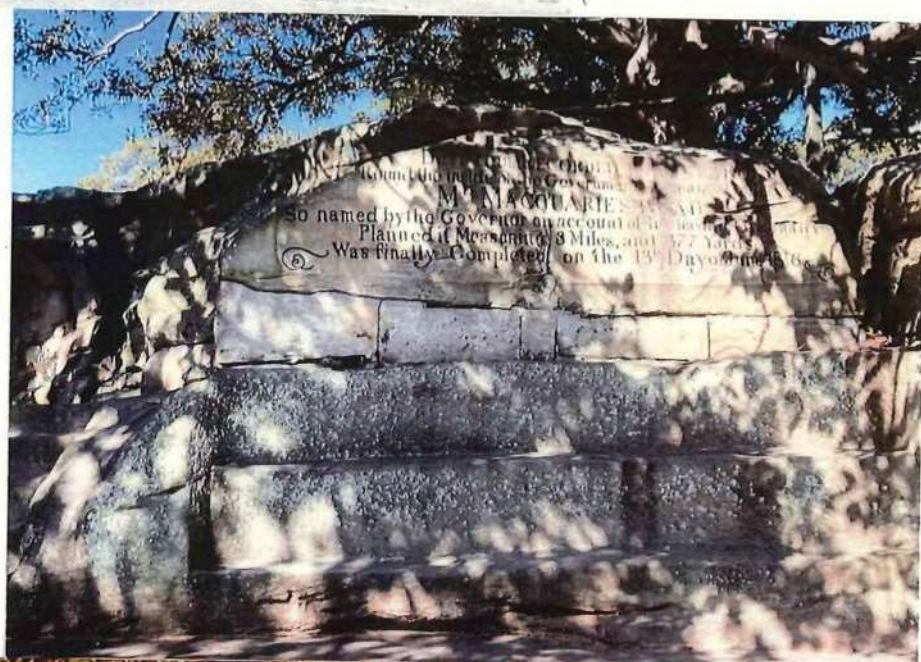


オーストラリアで撮った写真



オペラハウス

ミセス・マクアリス
テア



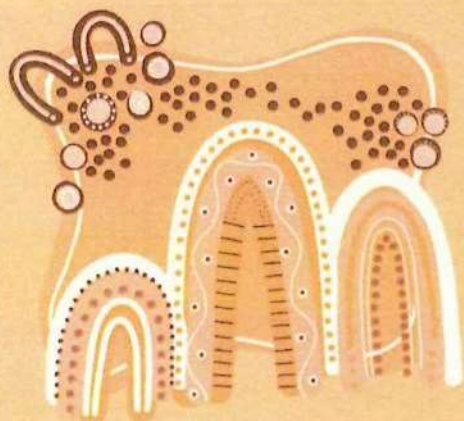
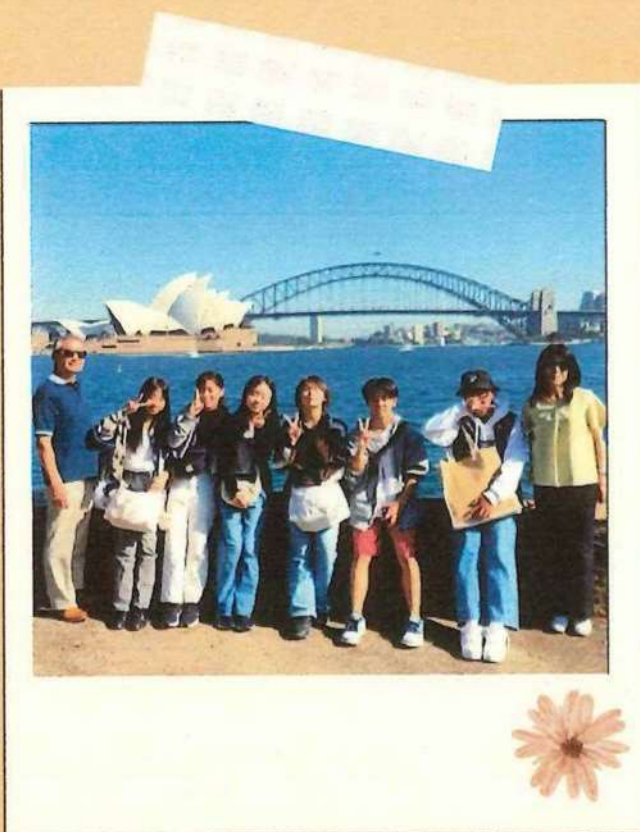
セザンヌが描いた絵



2024年度

ポートステューブンス市 派遣事業報告書

檜皮ひなの



CONTENTS

- | | |
|----|---------------------------|
| 01 | はじめに |
| 02 | 事業スケジュール |
| 03 | コテージでの生活 |
| 04 | 姉妹都市委員会の歓迎会・Thanks Dinner |
| 05 | 学校生活 |
| 06 | ポートスティーブンス市 |
| 07 | シドニー観光 |
| 08 | アボリジニの文化について |
| 09 | 終わりに |



01 はじめに

最初は母に勧められ、説明会に参加させていただき、とても魅力的な事業だなと感じたので応募させていただきました。オーストラリアは行ったことがなく、新しい世界を知りたい、オーストラリア・ポートスティーブンス市の魅力を知りたいという思いから、参加したい思いが強くなっていきました。

今まで海外の学校に通学をしたことがなかったので、ホームステイでは得られない、よりオーストラリアの教育、生徒の学校生活を体験することができて、とても良い経験となりました。

なんとなく行くのではなく、しっかりとした目標を持って行く。ということを私は今回の事業で一番大切にするようにしました。通常とは少し違った形ではありましたが、とても良い体験を沢山する事ができて、自分自身の成長に大きくつながったものとなったのではないかと思います。



02 事業スケジュール

3/29 夜便でシドニーへ

3/30 シドニーからポートスティーブンス市へ
姉妹都市委員会の歓迎会

4/1 学校に通学
放課後、Tomaree Headland の展望台へ

4/2 学校に通学
放課後、コアラ保護区、スーパーへ

4/3 学校に通学
放課後、ネルソンベイ付近のお土産屋さんへ
湯河原主催のThanks Dinner

4/4 ネルソンベイにてドルフィンウォッチング
昼食、スーパーへ
ポートスティーブンス市出発し、ホテルへ

4/5 シドニー観光：オペラハウス・ハーバーブリッジ
など
空港へ

4/6 羽田到着
バスで湯河原へ

03 コテージでの生活



コテージでは、4泊しました。2つのコテージを借り、男女で分かれて生活しました。ご飯は主に男子棟に集まりいただきました。
とてもきれいで、設備も充実しており、快適でした。

部屋の様子



朝食・夕食

ご飯は、スーパーで買ってきたパン、グラタンなどを温めたりしました。オーストラリアの人がよく食べるというピザをいただくなど、オーストラリアらしいものを食べました。



04 学校生活



日本の学校と違うところがたくさんあり、少し慣れるのに時間がかかりました。ですが、クラスメイトが沢山話しかけてくれてとても充実した学校生活を送ることができました。



時間割

1～3時間目

スナックタイム 15分程度

4～5時間目

ランチタイム

6～7時間目

スナックタイムは、リンゴやお菓子を食べている子が多かったです。スナックタイムに少し食べないと、ランチが遅めなので大変でした。



授業

移動教室が多いですが、授業の合間の休憩時間が5分しかなく、とても忙しかったです。今回は中1のクラスに入っただ、英語でも内容は把握できることが多く、授業に積極的にさんかすることができました。



バディーとの交流

バディーは一人につき中学1年生の二人で、3日間学校生活を共にしてくれました。授業は主に二人のクラスに入りました。2人の選択しているクラスが違う時には、2種類の数学のクラスを体験することができました。一緒にご飯を食べたり、運動をしたりしました。バディーの子の友達とも仲良くなる事ができ、とても良かったです。



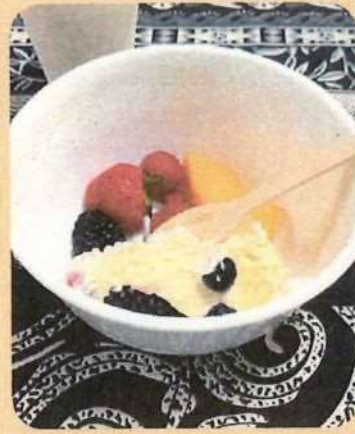
文化紹介

お世話になった学年にそれぞれ、日本の文化を紹介しました。私は、茶道について話しました。緊張しましたが、紹介することで日本文化を客観的に捉えることができ、私自身日本文化をより知るきっかけになり、とても良い機会でした。

05 姉妹都市委員会の歓迎会・Thanks Dinner

歓迎会の様子

姉妹都市委員会の方が準備してくださった食事をいただきました。オーストラリア発祥とされるパブロバを初めて食べたのですが、とても美味しかったです。ポートステューブンス市のグッズのプレゼントもいただきました。みなさんととてもあたたかい方で気軽に話しかけてくださり、私達の緊張をほぐしてくださいました。



Thanks Dinnerの様子

海鮮・肉・カレーと3種類のうどん、いなり寿司、スティック野菜サラダ、抹茶アイスなどを振る舞いました。皆さんがとても喜んでくださってとても良かったです。最後にバディーにプレゼントを渡しました。お別れで寂しかったですが、また会える日を楽しみにしています。



06 ポートステューブンス市

がっこうが終わったあとにコアラ保護区やトマリー・ヘッドランド、ネルソンベイに行きました。自然を思う存分満喫することができました。

コアラ保護区

保護区の中にはコアラの病院もあり、たくさんのコアラを見ることができました。

施設の方のお話によると・・・コアラは自分の体液を木につけて縄張り意識をするそうです。他にもコアラの豆知識を沢山教えていただきました。



トマリー・ヘッドランド

雨でしたが、ポートステューブンス市を一望することができました。また、オーストラリア原産である、バンクシアを見ることができ、現地の方に説明をしていただきました。



ドルフィンウォッチング

船の上でイルカを間近で見ることができ、自由奔放に泳いでいる姿を見て、とても元気をもらいました。

船を降りたあと、港でフィッシュアンドチップスをいただきました。とても美味しかったです。



07 シドニー観光

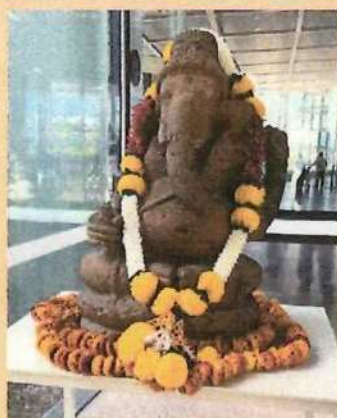
シドニー観光では、主にオペラハウス、ハーバーブリッジ、美術館、ボンバビビーチに行きました。

オペラハウス・ハーバーブリッジ

オペラハウスとハーバーブリッジを同時に見ることができて、とても良かったです。



美術館



ボンバビビーチ



08 アボリジニの文化について

アボリジニとは、オーストラリアがイギリスの植民地になる前のオーストラリアの先住民のことをいいます。学校でも、どこでも色々なところでアボリジニの伝統的な模様と出会ったので、紹介したいと思います。

これは学校に飾ってあったものです。校長先生によると、学校ではアボリジニの文化をととても大切にしているそうです。

この絵はセント・フィリップスの物語を語っているそうです。U字型の円は学校であり、U字型は思いやりのあるリーダー、スタッフ、ボランティアです。中の点は、学校に通う多くの生徒です。足跡は学校に入ってくる生徒、家族、コミュニティです。他にも色々な意味がありました。



この絵は、国横断するたびの物語を語っているそうです。U字型の円は。旅が始まる場所です。小さな円は、座って美しい環境と多くの祝福を振り返る休息場所です。青はヤビーのある川で、多くの異なる点と、形は、旅で集められた魚、筋肉、植物、ベリーなど、豊富なブッシュカッターです。



これは、シドニーの美術館にあったものです。他にも色々ないろ、形がある絵がありました。



09

終わりに

この事業報告書を書くにあたって、とてもこれでは収まりきることのできないくらい沢山新たなことを学びました。このような貴重な体験ができたのには両親、社会教育課の方々、ゆがわら国際交流のお二人、町会議員の皆様、姉妹都市委員会の方々、St. Philip' s christian college の皆様、などこの事業に関わってくださったすべての人のおかげだと思います。本当にありがとうございました。そして、また新たにこの事業に参加したいと考えている人、この事業に興味を持っている方、すべての方に伝えたいです。間違いなく、良い経験になりました。行かなくても、話を聞くだけでも十分良い経験になると思います。



令和6年度
ポースティーブンス市中学生派遣事業

湯河原中学校 3年 古家松旺



国名 オーストラリア

地域名 ポートスティーブンス市

留学期間 3月29日～4月5日

学校名 St Philips Christian College



宿泊施設Fingal Bay Holiday Park



志望動機

僕がこの派遣事業に参加しようと思った理由は、小学6年生の時にWBC大会でオーストラリア対キューパの試合を見てオーストラリアに興味を持ったからです。

野球を通じて違う国の子たちと交流してみたいと思いました。

ほかの国の子たちとは言語、文化、食べ物などいろいろなものが違います。そんな子たちと交流することは自分にとっていい経験になる、そう感じたからです。

日本の文化(自分が住んでいる湯河原の良さ)も今まで学校で学んできた英語を使ってどこまで通じるのか試してみたい気持ちもありました。

後は親元を離れて友達と1週間異国の地で自炊しながら過ごす経験ができることにもワクワクし、今回志望しました。



出発前研修

僕たちの留学と以前までの留学の大きな違いはホームステイをしないことです。

この出発前研修は自分たちがオーストラリアで開く「Thanks party」で作る天ぷら、カレーうどん、野菜スティックの練習です。また、僕たちの留学は自炊をすることになっていたのも、その練習でもありました。



後、英会話の研修が3回ありました。

空港で出国、入国する時のシュミレーション(紙のパスポートなど使用)やオーストラリアの有名なものについて、レストランでのオーダーの仕方など、2人1組になり行いました。

今まで英会話教室へ行ったことがなく、現地で喋ることが出来るのか不安でしたが少し自信が持てました。

1日目

1日目は羽田空港に行き、出国しました。

ここで次に派遣される子たちにいえるアドバイスは、スマホは持って行ったほうがいいということです。

僕はスマホを持って行かず、出国手続きで困ったことがありました。出国手続きではメールアドレスを入力しなければなりません。オーストラリアで使えなかったとしてもスマホは持って行ったほうがいいと思います。

空港で日本円からAUSDルへ両替がスムーズに出来ました。



夜のフライトはすぐに機内で寝れるかと思っていましたが意外と寝付けなかったです。

機内食は食欲があったのとしばらく日本食が食べれないかもと思い完食しました。

2日目

2日目はシドニー空港に到着し、専用車でポートスティーブンス市に向かいました。

宿泊施設についた後に、姉妹都市委員会主催の「Welcome party」があり、そこで現地の方たちからプレゼントをもらいました。プレゼントはたくさんあって、向こうの人たちのやさしさを感じました。1番水筒がデザインもカッコよくて嬉しかったです。



学校ではパティの子と一緒に活動するという事で、パーティにその子達も参加してくれました。

お喋りしたりして、緊張が少し和らぎました。

次の日からの学校生活に向けて気持ちの余裕が出来ました。

3日目

3日目は「st philip's christian college」の学生たちと交流しました。学校に来て1番最初に思ったことはみんな背が高いことです。スクールバディは2人いて、学年が1つ下の子たちだったのでそれほど背は高くなかったのですが、僕たちより一つ上の学年の子たちはすごく背が高くてびっくりしました。

僕のパディは日本人とドイツ人のハーフで日本語が喋れたのでとても助かりました。



全校生徒(約400人位)がホールで出迎えてくれ、とても緊張しました。

ランチはソファに座りくつろぎながら食べれる環境でした。



学校案内をしてもらいました。ジムが校内にあり充実しているなあと驚きました。

4日目

4日目は学生のみennaと一緒に授業を受けました。

歴史など英語だったので何を言っているか全然わからなかったです。

初日は緊張していたのであまりパディじゃない子たちとは話せなかったのですが、日本語を教えたり一緒にお菓子を食べたりして仲良くなりました。

昼休みに野球がやれたらいいなと思いグローブやボールを持っていきましたがずっと雨が続き出来なかったのは残念でした。



また学校の後にコアラ保護区に行ってコアラを見ました。とてもかわいかったです。けがをした野生のコアラを保護する取り組みは素晴らしいと思いました。



自分達の洋服はほぼ毎日洗濯していました。両親の大変さもわかり、感謝の気持ちがわきました。

5日目

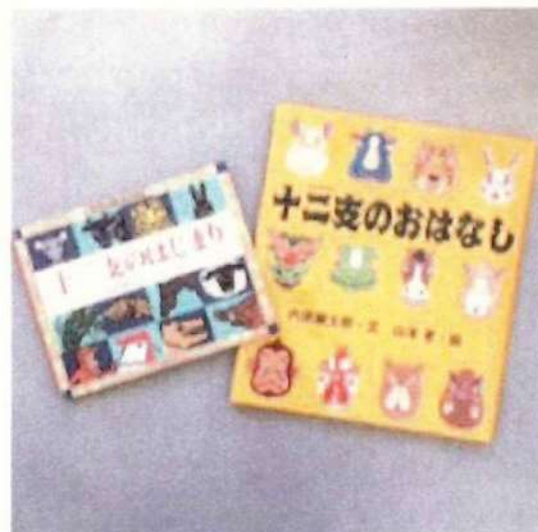
日本の文化を伝える時間を設けてもらいました。

1クラス内で発表する事を想定し準備していましたが100人位の前で行なったため急遽プレゼンの方法を変更しました。

アルバムの祭りの写真を用いて説明する予定でしたが資料が小さく、絵本を使い十二支について話しました。

事前にノートに話すことをまとめていたので、なんとか上手く発表することが出来ました。干支について盛り上がった反応があり手ごたえを感じました。

この日別の授業の数学で「計算が早い」とオーストラリアの子達が褒めてくれました。お別れする とき寂しそうにしていたのでいい交流だったのではないかと思います。



5日目の夜

5日目の夜は「Thanks party」をしました。このパーティーは学校に行った3日間でお世話になった関係者、スクールバディに出発前研修で練習した食べ物を作ってもてなす予定でしたが、「油のにおいが建物につくと困る」と言われてしまった為天ぷらは作らず、代わりにシーフードうどんと買ってきた巻きずしを作りました。

みんなおいしそうに食べてくれていたので安心しました。



最後にバディの子にプレゼントを渡しました。僕は抹茶のキットカットと文房具を渡しました。もうバディに会えないと思うと寂しかったです。

6日目

6日目の午前中はドルフィンウォッチングをしました。自分のすぐ目の前でイルカが泳いでいてとても興奮しました。イルカも自分のところに来てくれてかわいかったです。



ドルフィンウォッチングをした後はみんなで現地の人がおすすめする「フィッシュアンドチップス」を食べました。日本では食べられない味でおなか一杯になりました。

午後はシドニーに車で移動し、シドニーで夕食を食べました。すごくおいしかったのでもう一度食べたいです。

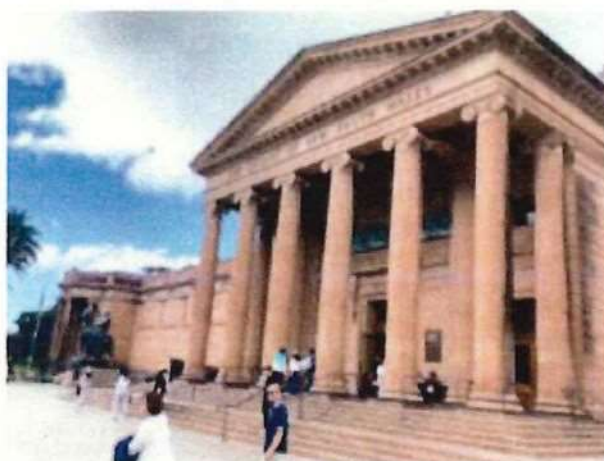


7日目

7日目はシドニーを観光しました。オペラハウス、ニューサウスウェールズ州立美術館に行ったり、シドニーの街が一望できる公園に行ったりしました。東京のような高層ビルばかりではなく、海もあっていいところだなと思いました。

街の雰囲気はポートステープルスは湯河原や真鶴、シドニーは横浜みたいな感じがしました。

美術館はすごく広くて、ゴッホやピカソなどの世界的に有名な画家の絵を見ることが出来ました。



シドニーを観光した後、海に行きました。

湯河原よりも海がきれいでとても気持ち良かったです。



留学生生活を終えて感じたこと

僕が留学生生活を終えて感じたことは4つあります。

1つ目はオーストラリアは治安が良いということです。オーストラリアに行く前の僕の海外の印象はいつもパトカーのサイレン音が鳴っている印象でした。しかしオーストラリアの人たちはとても親切で温かいです。だから今度行く子達には怖がらず、楽しんでほしいなと思います。

2つ目は日本はきれいであるということです。道端にゴミが落ちていない「整備された街並み」があるのはおそらく日本だけじゃないかなと僕は思います。オーストラリアは道端にごみが落ちていたり、学校の床にお菓子のごみが散乱していたりとかなり汚いです。

そんな光景を目の当たりにした後に日本に帰ってきたときに、日本はきれいであるということをより実感しました。

3つ目は国や文化は違っても、考えていることは一緒だということです。オーストラリアの学校の子達は異性のことを考えたり、下ネタを言ったり、授業中にゲームをしたりと日本の子供と同じことをしていて、「国が違っても変わらないな」と思いました。

最後に親元を離れ、異国の地で自炊し初めて出会う人達との交流は今までの価値観ががらりと変わり、自分を大きく成長させてくれました。当たり前だと思っていたこと、色々なお世話をしてくれていた両親のありがたみも感じました。

このような機会を与えて下さった湯河原町の方たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。

将来に活かしたいこと

僕はまだ将来の夢や目標が決まっていません。ただこの留学生生活を活かせる仕事や、その仕事になれなかったとしてもそこで学んだ文化を紹介しようと思います。

幼いころから参加している行事や伝統などについて、他の国の方へ伝えようとした時に日本の良さも改めて認識しました。今後、湯河原町に外国の方達が来られた時にもあたたかく出迎え紹介していきたいです。

また、この留学をきっかけにもっと違う国にも行ってみようかなと思いました。

Australian

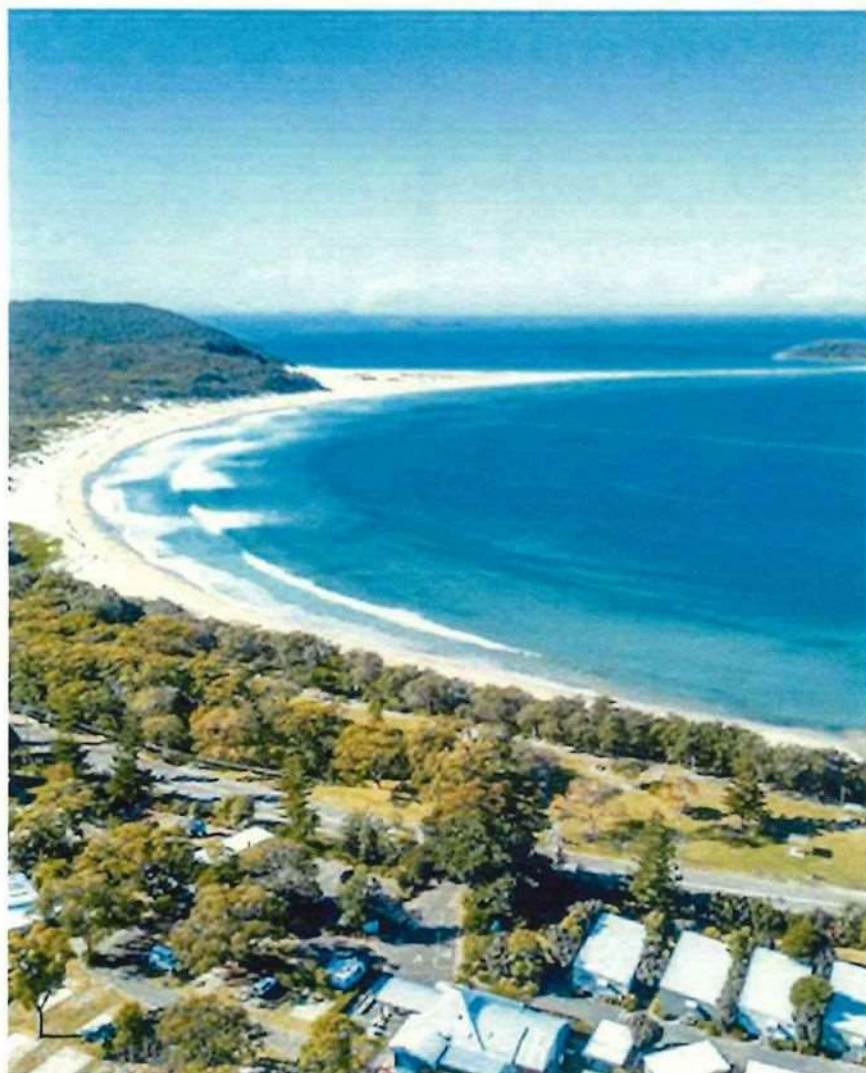


星野景冬



事前準備

日本ではオーストラリアでの文化交流に向けて前準備を行いました。具体的にレノア先生とみんなでオーストラリアについての基礎知識をつけてオーストラリアについて詳しく知ることができました。



welcome party

日本を10時頃に出てオーストラリアに10時頃につきました。そこでシドニーでお昼ごはんを食べました。そこで感じたのは日本との差です。とにかく御飯の量が多かったです。更に飲み物などがペットボトルや瓶など自分たちで予想セルフ式でした。お昼の後はバスに乗りシドニーからポートスティーブンス市に移動しました。宿泊場所の小さな庭のようなところでパーティーをしてくれました。そこではオーストラリアの人が気さくに話しかけてくれてみんなで楽しむことができました。更に市長さんが来てくれて仲良く話すことができました。

学校での日常

学校ではまずホールに呼ばれみんなの前で紹介されてすごく緊張しました。その後は私のバディと会って少しお話をしました。バディの名前ヴェイリーとジョウといいます。一人は日本に来たことがあり日本について話しました。オーストラリアでは11時頃にスナックタイムというのがありみんな好きなお菓子やフルーツを食べて楽しみました。お昼休みでは一人でいたら先輩がバスケットやろーよと誘ってくれてすごく嬉しくてスポーツを通して仲良く慣れました。スポーツは言語の壁も関係ないと思いました。

shopping

放課後にみんなでスーパーに行きました。オーストラリアでのスーパーには色々驚かされました。例えばfree fruitがあります。それは子どもが静かに買い物できるようにfruitを置いておき子どもたちに無料で上げる取り組みです。私はこれはすごく良い取り組みだと思いました。

日本は食品ロスが多く賞味期限が近いものをこのような取り組みにすればいいと思います。





山登り

学校の放課後に山に登りました。
山に登る際にガイドさんが一緒に登ってくれて色々な植物を教えてくださいました。オーストラリアにはいろいろな植物がありました。すごく興味深かったです。あいにくその日は雨でしたが山頂まで登るといい景色でした。山の中には以前使われていた大砲があり。歴史に触れることができました。

Thanks party

みんなのバディやお世話になった人を呼んでパーティーをしました。そこでは私達が作った日本食を作りました。日本食を食べた人はみんな美味しって言ってくれて作ったかいがありました。みんなに私はありがとうを伝えられたと思います。みんな美味しそうに食べてくれて良かったです。

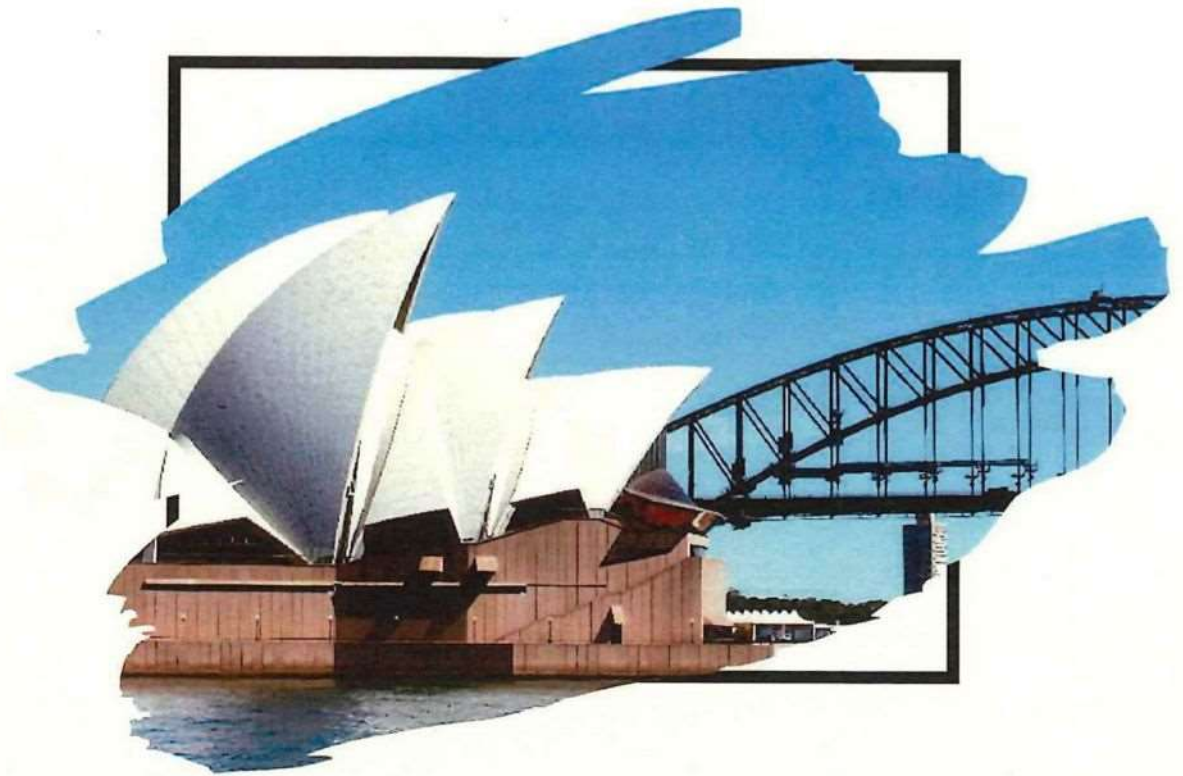
Dolphin watch

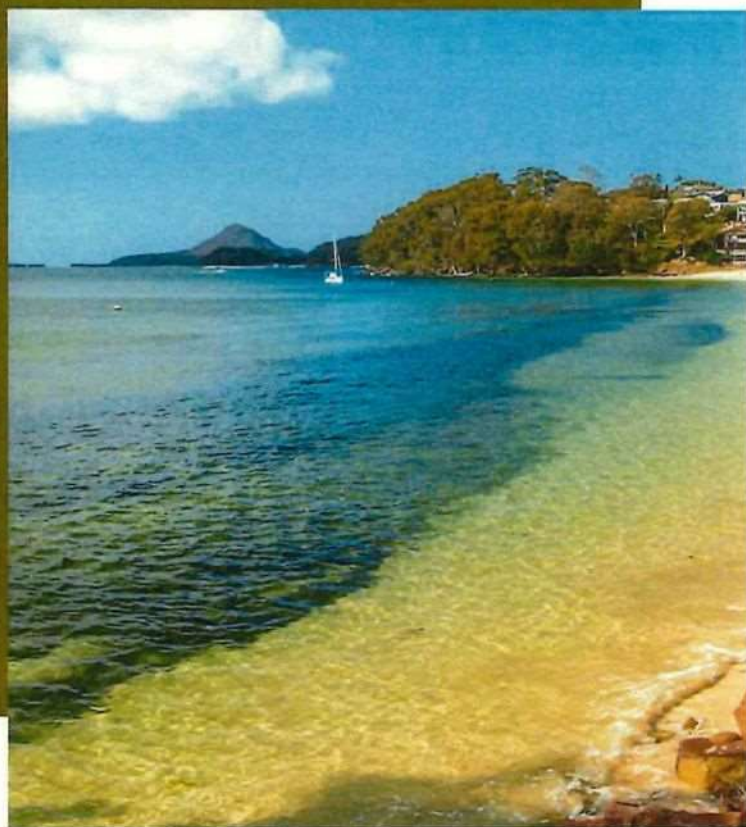
ポートステューブンス市最後の日にイルカを見に行きました。私は野生のイルカを見れてすごく興味深かったです。更にイルカについて説明してくれてイルカの生態について知ることができました



Sydney

最終日はシドニーでいろいろな体験をしました。特に価値観が変わったものは美術館で戦争の歴史のようなものを見て深く考えさせられました。





感想

本文を追加

オーストラリアに行き違う言語を話し様々なことを感じるがありました。その中でも一番思い出に残っていることがスポーツです。スポーツは言語関係なく楽しめてスポーツは言語の壁も関係ないと思いました

FIG.

DATE



オーストラリア



オーストラリアの
国として定めた
色は緑と金です。

巻上 明里



目次

- ページ 1 湯河原からポートステーション市へ
 2 歓迎会
 3 初めての学校
 4 学校2日目、コアラ保護区へ
 5 学校3日目 文化交流会
 6 湯河原主催の夕食会
 7 トルフィンウォッシング
 8 シトニ観光
 9 まとめ



派遣者

- ・加藤 偉乃
- ・高杉 花暖
- ・檜皮 ひなの
- ・古家 松旺
- ・星野 景冬
- ・巻上 明里

随行者

- ・早藤 義則
- ・青木 蟻

姉妹都市の方

- ・ケリー
- ・エレン



1 湯河原 からポートステーション市へ

湯河原駅に集合してポートステーション市へ向かい始めました。
向かい始めた時はこれからオーストラリアへ行くんだと思いとても楽しみで不安でした。みんなも同じだったようでどんな感じがいるのかな。「どんな食べ物があるのかな」と話しながら向かいました。初めての飛行機は怖かったけど思ったよりも楽しかったです。



シドニーに着くと急に英語だけの世界になりとても不安になりました。同時に驚きもたくさん生まれました。トイレ信号全てが日本とは違うのです。特に驚いたことは黄色信号がなく、縦型信号であることです。またことない形でルールも違うので国際免許が必要そうです。私も国際免許を本にならう取りたいです。



シドニーで食べたポロネーズも日本とは違い酸味があり、食の違いを感じました。アイスも甘くびっくりしました。しかもオーストラリアの人はそのアイスにチョコを何回もかけていて、とてもびっくりしました。

バスで向かいながら窓から見える景色の中でも驚くことはたくさんありました。

フィンガールベイホリデーパークという4泊するホテルに着き荷物を広げました。



DATE _____

3 初めての学校へ

朝起きて、姉妹都市交流委員会の方に送っていただき学校へ行きました。そこではカンガルーや食べ物の貴重なお話を聞かせていただきました。学校へ着くと、バティの子たちに自己紹介をして学校の案内をいただきました。学校には幼稚園から高校まであり、バスケットや遊具などもあり日本の学校とは全然違っていました。



その後集会を全体でしてみんなに紹介してもらいました。最初は不安だったけどオーストラリアの方はみんな優しく話しかけてくれて分かりやすいよう教えてくれてとても優しい方(バティ)でした。

その日のお昼はオーストラリアの方が準備してくださり学校の机にはいいで買ったものでした。とても大きくハンバーガーとパイを2個頼んでいた人は食べきれなさそうでした。



おやつタイム

おやつもお昼の前にはありました。おやつはバジマイトやクッキーなどたくさんありました。バティの子はバジマイトがとても美味しいと言っていてびっくりしました。私が苦手と言ったがぜんぜん食べておいしいと進められました。

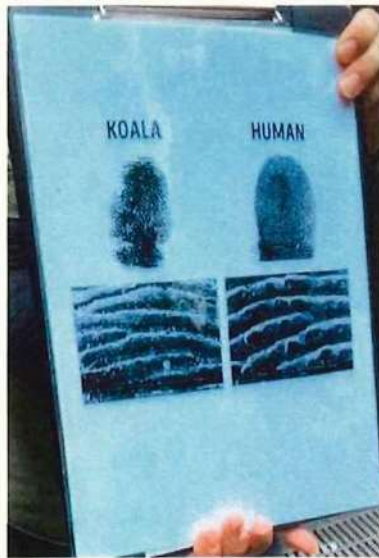
放課後は山に登りオーストラリア、ポートステープルの景色をたのうました。

4 学校2日目

学校2日目はすっかり慣れて前日よりバティの子とたくさん喋ること
が出来て学校に行くのが楽しみななっていました。
言語は違っても喋ることは日本と大体同じで云えることは難しいとい
れどとても楽しかったです。
授業では、オーストラリアの歴史やフットボールなど初めて知る
ことがたくさんで面白かったです。

コアラ保護区へ

コアラの保護区へ学校が繋がってそのまま行きました。
コアラの手足や爪の秘密を教えてくださいました。
コアラの赤ちゃんも動画で見せていただきとても可愛かったです。



手! コアラにも指紋が!?



コアラはほとんど
眠っているんで
起きているところ
をみれたラッキー
なんだそうです。



足!

5. 学校3日目

学校最終日はもう会えなくなるバディではない子たちにお別れをしっかりと告げられるようにしました。最初はやや不安だった学校たけとオーストラリアの子達のおかげでとても楽しい3日間だったので寂しかったです。友達になっただけではプレゼントをくれたり写真と一緒にとったりしました。



文化交流会

大勢の前で発表をするのはとても緊張しました。私は箸の使い方という発表だったのですが箸の実物をみんなに持たせてボランティアで箸を持ってもらいました。

他の子と和菓子茶会、十二支、折り紙などそれぞれ精一杯発表でき、良い文化交流会になったと思います。



その日の放課後は姉妹都市の方と共にお土産を買いに行きました。オーストラリアの面白いポリッシュのチョコレートやコアアのチョコレートなど良いものがたくさん買えました。

6. 湯河原主催の夕食会

学校3日目の放課後に準備して湯河原主催の夕食会を開きました。

そこではバティの子や姉妹教師の方先生などたくさんの方が来て、色々な話をしました。

例えば、学校で楽しかった所や食事をどうやって食べるのかなど話すことはたくさんでした。

主な料理は、いなり寿司、寿司、カレー、魚介うどんです。

楽しかったことは、バティの子たちみんながスプーンフォークじゃなくて箸を使って食べてくれたことです。日本の文化を知ってくれようとしてる！と思いますごく楽しかったです。

パーティーの終わりのときにバティの子がプレゼントをしてくれて、それをもすごく楽しかったです。ただその中にベジマイトが入っていてびっくりしました。

私からもプレゼントをして二人ともすごく喜んでくれたのでお別れだと思って泣きそうになりました。



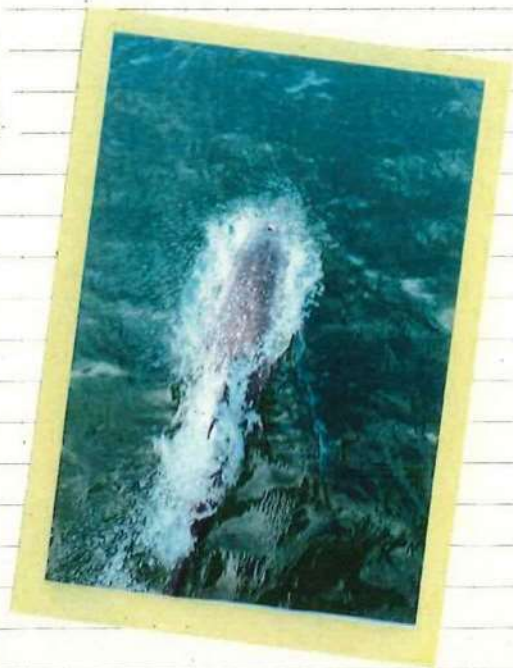
ここでは成長も感じられました。最初の歓迎会の時よりも多くの人と積極的に楽しく話すことが出来ました。もっとオーストラリアに住みたいと思うほど楽しい3日間だったことをみんなに伝えられて良い歓迎会に出来ました。

7 トルフィンウォッチング

朝起きて、すぐに車でトルフィンウォッチングの場所に向かいました。
ガイドの日本人の方にいるかに関する事をたくさん教えていただきました。
特に興味深かったのは、いるかは船の動きによる波が大好きな
そうで自分から船に近づき、合わせて泳ぐこともするという話に
びっくりしました。



船は大きく、日本のテレビ
も取材に来ていました。



ガイドさんが言っていた
通りイルカたちは
船の波に合わせて
たくさんジャンプや
ローテーションをみ
せてくれました。



赤ちゃんイルカもあ母さんイルカ
と共に泳ぐ練習をして
いました。

8 シドニー観光

オーストラリア最終日はシドニー観光をしました。
 まず、マッコーリー夫人の椅子にみんなで座りました。
 座るといい夫に出会えるという話があるらしく女性に人気なそう
 です。



次にオペラハウスとハーバーブリッジの前で写真を撮りました。
 とても特徴のある形でした。



その後美術館に行きました。ゴッホやピカソなど有名な
 画家の絵もある大きな所でした。



最後に海に行きました。
 とてもきれいで人も多かったです。



9 まとめ

私がオーストラリアで感じたことは、日本の文化や生活に使うものをと大いにしようです。

オーストラリアの子たちは、自分たちの文化を好きと自信を持って言っていたので私もそうなると思いました。

生活に使うものは、トイレやシャワー、キッチンなど日本の方がアプライバシーが与らされていて日本人の性格が表われていると思いました。特に大変だったのは食文化の違いです。日本とは食べる物が全然違いオーストラリア原産のものが多かったです。

私がオーストラリアにいて良かったことは、たくさんの人と色々な言語で話すことが出来た事と、日本の良い所とオーストラリアの良い所が分かったことです。

私はこれからたくさんの人にオーストラリアに行って同じように貴重な体験をしてほしいです。